

# 超汎用加工機が稼働

## スカイ

プレカット大手のスカイ(静岡県磐田市、高橋幸嗣社長)は、一般建築材からCLT(直交集成板)、大断面材、アーチ梁等まで対応する全自動6軸フルプレカット加工ラインを豊岡太郎馬工場に導入した。投資額は約2億円。一般寸法材から材厚600×材せい3000×全長14mまで加工できる超汎用機で、公共建築物などの大型木造建築の需要に対応していく。

## CLTははじめ大断面に対応

同社は、本社を中心とする豊岡拠点と船明拠点で総合プレカット体制を敷き、年間約12万坪(14年実績)を加工している。

大規模物件まで今回の加工機は、ユニチーム(イタリア)製の大断面対応機で、鈴木(三重県伊勢市、牛場まり子社長)を通じて導入・設置された。全自動6軸加工方式で、材料をつかんだ専用台車が動いて各ユニットが多様な加工を

施す仕組み。注目のCLTをはじめとする大断面材に対応し、アーチ梁や階段材など様々な変形加工が可能。最新鋭機で、最小加工寸法50mm角という性能を持つため構造規模の大小を問わず対応が可能となっている。

同機は専



新に導入された6軸加工機

用CAMソフトへ単体データ入力するだけで多様な加工ができる

が、総合ラインとして効率的に運用するため、連動するCAD「アルティメットCAD」の活用を20日前後から本格化し、第一弾として金物工法3種に対応させる。

同CADは宮川工機(愛知県豊橋市、宮川嘉隆社長)の協力のもとトリアエンジニアリング(埼玉県朝霞市、野口睦社長)で開発されたもので、欧州規格のBTLフォーマットでデータを出力して新加工機へ送る仕組み。大型木造物件の構造計画に基づいた金物工法の入力・加工への対応

を重視しており、大型物件の千差万別な接合金物に関するプログラムを工場側で自由に作成できる。通常のプレカットCADでは加工点数最大値を超えてしまう大型構造物の加工部品点数の問題も、建物の階数ごとにレイヤーを分けることで対応する。建物を工区別にするなどで、現場の進捗よく状況に合わせた分別加工・分別納材ができる。

当面は、加工機の取り扱い習熟に力を入れるほか、営業面ではゼネコンや建設会社、設計事務所、公共建築の行政関係等へ総合加工能力の拡大についてプレゼンを進める。

「CLTの普及促進だけでなく、これまでの手刻みの部分や大工

# 日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社  
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4  
編集・営業 ☎03-3820-3500  
FAX03-3820-3519  
読者・販売 ☎03-3820-3511  
FAX03-3820-3518  
http://www.n-mokuzai.com/  
eメール info@n-mokuzai.com  
購読料 1ヵ月 6,200円  
©日刊木材新聞社 2015  
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布は、著作権の侵害にあたり違法です。

70  
木材業界の羅針盤でありたい  
1945年創刊  
木村建研ワイフリー  
Japan Lumber Reports

木村商社  
株式会社 内山商會  
本社 東京都世田谷区上北沢5-1-43 11  
TEL(03)3302-1967 五七代

主な記事  
本日は24頁建て

- ▽2～8面 林業で地方再生
- ▽10～12面 木材ベンチャー
- ▽14～15面 地域版 上巻越
- ▽16～18面 若手経営者
- ▽19面 会社特集 フクリ化学工業
- ▽20～23面 地域版 四国

の技術者、機械とデータという形で継承・発展させていきたい」(高橋社長)と話している。